

電気ケトル 1.1ℓ

取扱説明書

一般家庭用（業務用として使用しないでください。）
※玩具ではありません。

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、大切に保管してください。※不適切な取扱いは事故につながります。

保証書付 裏表紙に
あります

型番 TA-B07g
品番 SN-208



もくじ

- ※この商品は水を沸かすためのものであり、水以外は沸かさないでください。
- ※この商品は火にかけられません。
直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に乗せることはできません。
- ※この商品は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。

安全上のご注意	1～3
お願い	4
各部の名前とはたらき	5
使い方	6～9
お手入れ	10～12
このような時は・仕様	13
保証とアフターサービス	14
修理保証書	15

本製品は日本国内専用設計されていますので、国外での使用はできません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用になる前にお読みください。

- お湯をわかすときは必ずふたをしっかりと閉めください。
- 水以外は沸かせません。
- 保温機能はありません。
- 火にはかけられません。直火、電気ヒーターにはのせないでください。
- 湯わかし中は注ぎ口をなにかでふさがないでください。
- 湯沸かし中、湯沸かし後は本体が熱くなるので、ご注意ください。
また、熱い蒸気に気をつけてください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告

「取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温-低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

○は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意

警告 本機には転倒時の漏水防止機能は有りません。転倒すると熱湯が漏れ出し火傷の恐れがございます。子供の手の届かない、又コードが足等に引っ掛からない場所に設置してください。



分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買いあげの販売店またはお客様窓口にご相談ください。



湯沸かし中、注ぎ口やふたに顔や手を近づけたり、手を触れない
やけどをすることがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようにしてください。



ケトル本体を水に浸したり、水をかけたりしないまた、ぬれた場所に置かない
ショート、感電、故障の原因になります。



電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと、火災・感電の原因になります。



子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
やけど、感電、けがの原因になります。



ケトルを傾けたり、ゆすったり、転倒させない
湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



使用中、ふきんなどで注ぎ口をふさがない
湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。



最大目盛 (MAX) 以上の水を入れない
沸騰したお湯がふきこぼれ、やけど、感電、けがの原因になります。



直火 (ガス台等) や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に乗せない
火災の原因になります。



電源プラグのほこりは定期的に取り除くほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る
火災の原因になります。



コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電、ショート、発火の原因になります。



湯沸かし中、ふたを確実に閉める
ふたをしっかりと閉めない、沸騰してもスイッチが切れません。



ふたを持ってケトル本体を移動しない。
湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないまた、ケトル本体底部や電源スタンドの接触端子部にふれない
感電やけがの原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電、ショート、発火の原因になります。



電源スタンド、電源コード、電源プラグは、水に浸したり、水をかけたりしない
ショート、感電、故障の原因になります。



コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり挟み込んだり、加工したりしない
コードが破損しショート、火災、感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

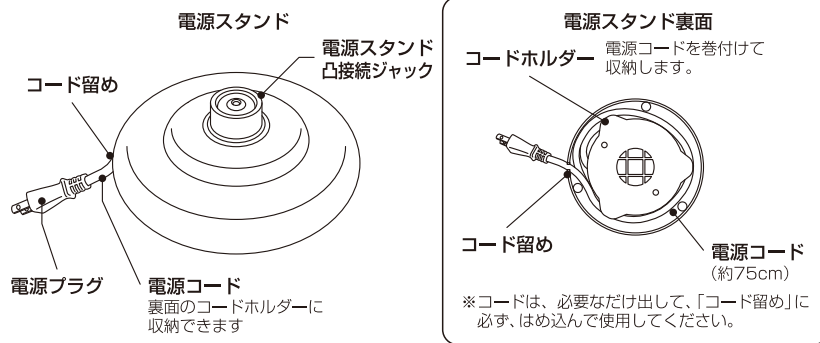
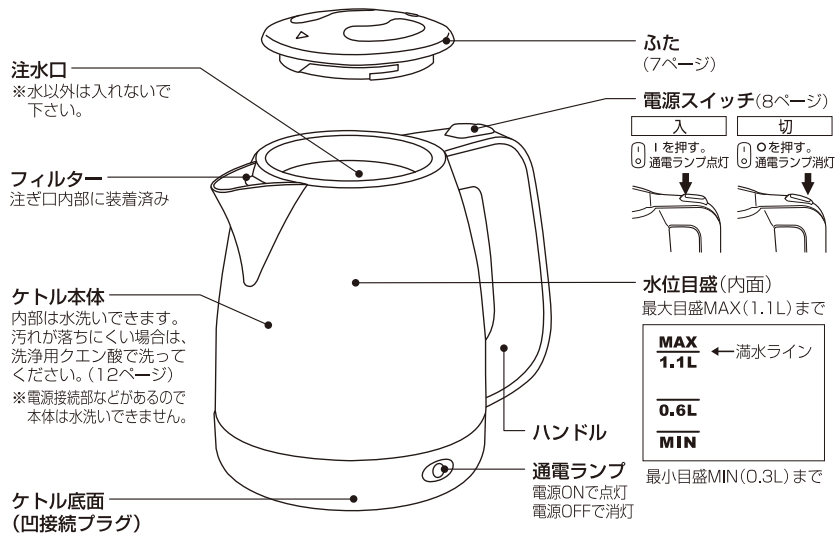
- | | |
|---|--|
| 
ハンドルを持つ
ケトルを持ち運ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持つ
ケトルが落下したり、湯がこぼれたりして、けが、やけどの原因になります。 | 
禁止
専用の電源スタンド以外は使わない
また、電源スタンドは他の機器に転用しない
発火、故障などの原因になります。 |
| 
禁止
湯沸し中は、移動させない
湯が流れ出たり、蒸気でやけどをする恐れがあります。 | 
指示
お湯を注ぐときは、ふたをロックする
ロックしないとふたが落ちて、やけどなどの原因になります。 |
| 
禁止
不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わない
火災の原因になります。 | 
方法
使用中以外は電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。 |
| 
冷えてから行う
お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う
高温部に触れるとやけどの原因になります。 | 
プラグを持って抜く
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電、ショート、発火の原因になります。 |
| 
禁止
壁や家具の近くでは使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。 | 
接触禁止
ふたをあけるときの出る蒸気に触れない
やけどの原因になります。 |
| 
禁止
ケトル本体は湯沸かし以外の用途で使わない
氷を入れて保冷用に使わない
感電、故障などの原因になります。 | 
プラグを持って抜く
異常が発生した場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
やけどの原因になります。 |
| 
しっかり載せる
ケトルは電源スタンドの中央にしっかり載せる
転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。 | 
禁止
電源スタンド中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだり、ゴミを付着させたりしない
ショート、感電、故障の原因になります。 |
| 
禁止
スイッチがONのまま台座にセットして使用しないでください。
ONは「I」です。必ず「O」切にする。 | 
禁止
牛乳を沸かす・お茶を沸かす等、湯沸かし以外の目的に使用しないでください。 |
| 
禁止
連続使用する場合、必ず5分以上時間をあけて使用してください。
安全装置が冷えない場合、電源が入りません。 | 
禁止
最小目盛(MIN)以下の水量で使用しないでください。 |

お願い

- | | |
|---|---|
| <p>■ケトル本体に水が入っていないときは、スイッチをONにしないでください。
通電不良など故障の原因になります。</p> | <p>■余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。</p> |
| <p>■水以外のものを沸かさないでください。
通電不良など故障や汚れの原因になります。</p> | <p>■ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
表面を傷めます。</p> |
| <p>■湯沸し中や沸騰後は本体が熱くなっていますので、ご注意ください。</p> | <p>■食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。
変形の原因になります。</p> |
| <p>■残り湯は必ず捨ててください。
放置すると変色・腐食の原因になります。</p> | <p>■洗剤を使わないでください。
においの原因になります。</p> |
| <p>■本製品は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけ沸かしてください。</p> | <p>■ケトル内部の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。
汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。</p> |
| <p>■長時間お使いにならないときはお手入れ後、十分に自然乾燥させてから、保管してください。</p> | <p>■長時間清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。</p> |
| <p>■ケトルのMIN(0.3L)からMAX(1.1L)の範囲でお湯を沸かしてください。
空だき防止機能が働いて電源スイッチが切れたり、お湯があふれて、やけどや故障の原因になります。</p> | <p>■ケトルと電源スタンドの接続端子部を確実に接触させてください。
接触が不具合の場合、電源スイッチが入らなかったり、切れなかったりします。故障の場合はお買いあげの販売店またはお客様窓口にご相談ください。</p> |
| <p>■ストーブやガスコンロなど、熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない
本体のプラスチック部分が熱で損傷するおそれがあります。</p> | <p>■コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは電源コードをひっかけないよう気をつける
本体が落下し、やけどやけがをされるおそれがあります。</p> |
- 本体に傷やひび、欠けがある場合は使用しないでください。けがや故障の原因になります。

各部の名前とはたらき

- 本製品は、ケトル本体と電源スタンドの分離式になっています。
- 電源スイッチを入れないと通電しません。また、ケトル本体を電源スタンドから、はずすと電源は自動的に切れます。
- 連続使用する際は、沸騰して通電ランプがOFFになってから5分以上あけて使用してください。
- 空だきすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。安全装置の回復まで20分程度必要とし、その間電源スイッチを入れてもランプは灯きません。



使い方

警告



最大目盛(MAX1.1L)以上の水を入れない
沸騰したお湯がふきこぼれ、やけど、感電、
けがの原因になります。



湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、
ハンドル以外のケトル本体などふれない
高温になりやけどの原因になります。



水ぬれ禁止

ケトル本体を水に浸したり、水をかけたりしないまた、ぬれた場所に置かない
ショート、感電、故障の原因になります。



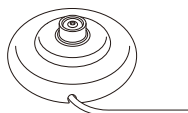
注意

落としたり衝撃を与えますとケガや破損の恐れがございます。ご注意ください。
●初めて使うときは、事前にケトル内部を水またはぬるま湯でよくすすいでください。

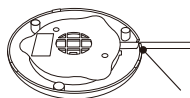
お願い

- ※余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。
- ※ケトルの最低目盛以下の水量を沸かささないでください。空だき防止機能が働いて自動的に電源スイッチが切れる場合があります。この場合は、ケトルを電源ベースからはずし、しばらく冷ましてください。
- ※本器は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけを沸かしてください。
- ※初めてお使いになる場合は、使い方に従って沸騰及びすぎを2~3回繰り返してからお使いください。また、使いはじめには臭いがある場合がありますが、臭いが気にならなくなるまで、同様に繰り返してからお使いください。

1. 電源スタンドを水平で安定した場所に置く



電源スタンドは清潔で平らなところに置きます。



コード留め

電源コードのセット方法

電源コードを電源スタンド裏側に巻き付けて、長さを調節します。
電源スタンドのコード留めに電源コードを確実にセットしてくだ
さい。

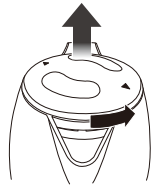
お知らせ

- コードリールではありませんので、電源コードをひっぱって長さを調節することはできません。
- 電源スタンドに巻き取りセットした場合、約40cm余りですが、使用時に最低でも必要と思われる長さを残した仕様になっています。

使い方(つづき)

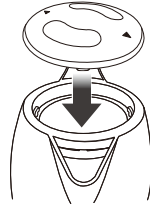
2.ふたの開け方、閉め方

開け方

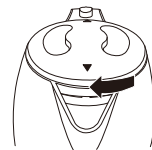


ふたを反時計回りに回して、ふたの▼マークを図の位置に合わせて、取り外します。

閉め方



①ふたの▼マークを図の位置に合わせて置きます。



②ふたを時計回りに回し、ふたの▼マークを正面にあわせてロックします。

3.本体に水を入れる

ケトル本体に新鮮な水を必要な量(MIN~MAX1.1L)だけ入れ、ふたを閉める
※ふたをしっかり閉めないで、沸騰してもスイッチが切れません。

注水は最大の目盛(MAX)まで!

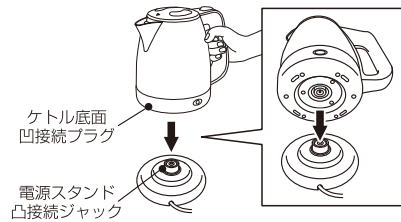


①注意

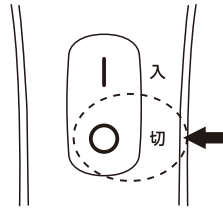
- 初めてケトルを使用する際は、念のため最初の2~3回はすすいであらってからご使用ください。
- 電源スタンドの上にケトル本体を載せた状態のまま水を注ぐことはおやめください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、水に含まれるミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなります。
- 水を入れすぎると、ふきこぼれるおそれがありますので、MAX(満水)以上は入れないでください。また、水を入れないまま、空だきをしないでください。故障の原因になります。
- 水以外のものは沸かさないでください。ふきこぼれ、故障の原因になります。
- ふたがきちんと閉まっているのを確認してください。ふたがきちんと閉まっていないうちに沸騰してもスイッチが切れない場合があります。

4.本体を電源スタンドに正しくセットする

①本体底部にあるプラグと電源スタンドをあわせる。

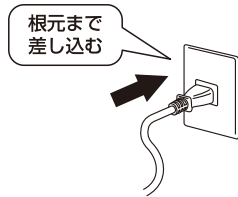


②電源スイッチがO(切)になっていることを確認します。



使い方(つづき)

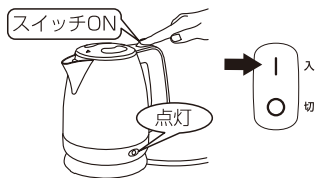
5.電源プラグをコンセントに差し込む。



❗注意

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。

6.電源スイッチを入れる。



電源スイッチ | (入) を押します。通電ランプが点灯します。

❗注意

お湯を沸かしている最中は絶対にふたを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。

お湯が沸騰すると、電源は自動的に切れます。

- お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- お湯が沸く前に電源を切る場合は、電源スイッチを上押ししてください。

7.お湯が沸き、電源が切れる。



お湯が沸くと自動的に電源が切れます。
(電源スイッチが元に戻り、通電ランプが消えます。)

お湯が沸く前に電源を切る場合

電源スイッチを指で押して、通電ランプが消えたことを確認する。

連続して使用する場合

5分以上、冷ましてから電源スイッチを押してください。熱いと電源が入らない場合があります。

❗注意

- 沸騰直後にふたを開けないでください。やけどをすることがあります。

使い方(つづき)

8.お湯を注ぐ

①注意 お湯を注ぐ前に、ふたがロックされていることを必ず確認してください。
ふたがロックされていない状態でお湯を注ぐと、ふたが落ちてやけどの原因になります。

①ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。



②ケトル本体を電源スタンドから外します。



③お湯を注ぎます。



- ケトルの底面はあまり熱くなりませんので、直にテーブルなどに置くことができます。
- ケトル本体を電源スタンドに戻す際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。
- 個人差により取っ手と本体が熱く感じられる場合があります。



①注意

- ご使用后、ふたを開けた時に、ふた内部から熱い湯滴が落ちることがありますので、扱いには十分にご注意ください。
- お湯を注ぐ際、急にケトル本体を傾けないでください。注ぎ口から湯が飛び出すおそれがあります。

- ケトル使用后、しばらくすると、カチンッと音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。安心してお使いください。
- 電気ケトルは蒸気を感じてスイッチが切れる仕組みになっています。この蒸気が、本体底部から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。

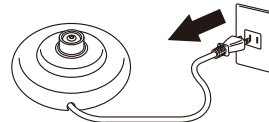
お願い ●連続使用する際は、沸騰して通電ランプがOFFになってから5分以上あけて使用してください。

9.使い終わったら

①残った水は残さず捨ててください。



②使用後はコンセントから電源プラグを抜いてください。



お願い ●残り湯は捨ててください。放置すると変色・腐食の原因になります。

お手入れ

⚠ 警告



電源スタンド、電気コード、電源プラグは、水に浸したり、水をかけたりしない。ショート、感電、故障の原因になります。

⚠ 注意



お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから高温部に触れるとやけどの原因になります。

- 日常、こまめにお手入れしてください。(10~12ページ)
- 長く使用しているとケトル内部に水アカや白い浮遊物などが付着します。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおすすめします。(12ページ)

お願い

- ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。変形の原因になります。
- 洗剤を使わないでください。においの原因になります。
- 容器の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れください。汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

ケトル内部の水アカ(変色)や白い浮遊物について

- 白い浮遊物(ミネラル分の結晶)
- 乳白色、黒色、虹色などの変化
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

上の例は、水分に含まれるミネラル分などの作用によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。衛生上問題はありませんが、定期的にクエン酸でお手入れしてください。(12ページ)

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水アカが発生しやすくなります。

日常のお手入れ

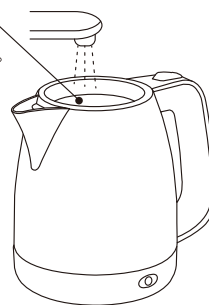
長期間清潔にご使用いただくためには、定期的にお手入れをしてください。

ケトル本体内部

水ですすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

- 白い浮遊物（ミネラル分の結晶）
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点（もらいさび）
- ざらつき

上の例は、水に本来含まれるミネラル成分の作用によるもので、衛生上問題ありませんが定期的にクエン酸でお手入れしてください。（12ページ）



ケトル本体外側

よく絞ったふきんでふきます。

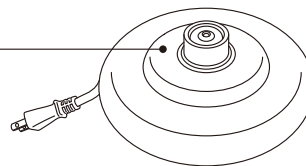
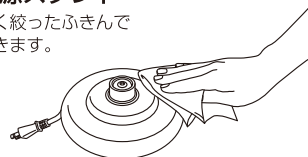


ふた

水ですすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりとふき、乾かします。

電源スタンド

よく絞ったふきんでふきます。



ケトル本体

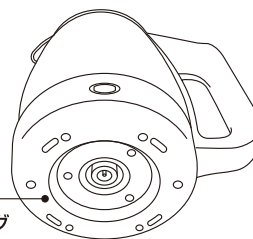
〈水洗いできません〉

- ケトル本体下部、電源スタンドには電源接続部などがあるのでケトル本体の内部以外は水洗いすることはできません。

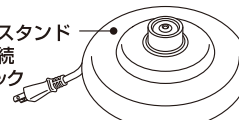
❗注意

- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
- ケトル本体と電源スタンドを水に浸けることは絶対におやめください。故障の原因になります。
- 磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり変色するおそれがあります。

ケトル底面
凹接続プラグ



電源スタンド
凸接続
ジャック



電源スタンド

日常のお手入れ

ケトル内部の落ちにくい汚れを取るためには

クエン酸洗浄

※もしくはドラッグストアなどで販売されています「電気ケトル洗浄剤」をご使用ください。
ご使用の際は洗浄剤の説明書に従いご使用してください。

1. ケトル本体に最大水位目盛 (MAX) まで水を入れ、約15gのクエン酸を入れて、ふたをする

2. ケトル本体を電源スタンドに寄せ、電源を入れる

- ①水を入れたケトルを、電源スタンドの中央に正しく(ケトル底面の凹接続プラグと電源スタンドの凸接続ジャックを合わせて)セットします。
- ②ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。
- ③電源スイッチを押します。通電ランプが点灯します。

3. お湯が沸き、電源が切れる

お湯が沸くと自動的に電源が切れます。(電源スイッチが元に戻り、通電ランプが消える)
沸騰後、約1時間放置する

4. ケトル本体を電源スタンドからはずし、お湯を捨てる

5. ケトル内部をよく水ですすぐ

6. クエン酸のにおいをとるため、水だけを最大水位目盛 (MAX) まで入れて再度、沸騰させて、お湯を捨てる

お湯の沸かしかた、捨てかたは上記2~4までをくりかえします。

お願い

- クエン酸洗浄後は電源スタンドの通電を止めます。
- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。
- クエン酸洗浄のお湯は飲まないようにしてください。
- 必ず、水から洗浄を始めてください。お湯は入れないでください。
- 最大水位目盛 (MAX1.1L) 以上に水を入れしないでください。
- 内側底部のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。
また、ステンレス部分は強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

このような時は

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

こんな時は？	調べるところ	処 置
お湯が沸かない。	電源スタンドのコンセントがはずれていませんか。	コンセントをきちんと差し込んでください。
作動しない。沸騰する前にスイッチが切れてしまう。	MIN(0.3L)に満たない水量で湯を沸かしていませんか。 また、水が入っていない状態でスイッチを入れたりしていませんか。 ケトルを空だきすると、空だき防止用の安全装置が作動して、スイッチが入りません。	ケトルをよく冷ました後、水を入れて、電源スイッチを押してください。
湯に白い物が浮く、容器内が汚れていたり、壁面がはがれたように見える。	水アカが容器に付着したものがはがれたものです。 ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります が有毒ではありません。	容器をお手入れしてください。 (10～12 ページ参照)
湯沸かし時の音が大きくなる。	ケトル内部底面に水アカが付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。(10～12 ページ参照)
電源スイッチが入らない	ケトルと電源スタンドの端子接触部が正しく接触していますか。 連続使用していませんか。5分以上間をあけてから再度スイッチを入れてください。	接触を確実にする。 (7 ページ参照)
電源スイッチが切れない	ふたが閉まっていますか。ふたがしっかり閉まっていないと沸騰してもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。

上表にしたがって調べたいただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

仕 様

電 源	AC 100V (50-60Hz)
消 費 電 力	900W
製品寸法(約)	約(幅)145×(奥行)220×(高さ)205mm (ハンドル・電源スタンドを含む)
重 量	約700g (電源スタンドを含む)
容 量	1.1L
コードの長さ	約75cm

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにお取扱い・お手入れに関するご不明な点は販売店または本書に記載のお客様ご相談窓口へご相談ください。

ご転居あるいはご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合

■輸入販売元

Tamahashi co.,Ltd.

株式会社 **タマハシ**

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6

TEL0256-63-9545 FAX0256-66-2252

URL <http://www.smile-king.co.jp>

E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

【受付時間】 10:00 ~ 12:00
13:00 ~ 17:00 (土日・祝日は除く)

保証書(一体)

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

—保証期間—
お買い上げ日より1ヶ年

補修用性能部品の保有期間

- 本製品は補修用性能部品の製造打ち切り後5年間保有しています。
- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時は

■保証期間中

製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証書/取扱説明書の記載内容により修理いたします。

■保証期間が過ぎている時は

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

本文中の絵表示は製品のイメージで、実際の形状と一部異なる場合があります。

電気ケトル1.1L

型番	TA-B07g
品番	SN-208

修理保証書

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書の記載にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたします。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間	本体お買い上げ日より1ケ年 無料	お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お名前	住所	
		T E L	
※販売店	店名	住所	
		T E L	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) お取り扱い上の不注意・天災・火災・公害・異常電圧・指定外の使用電圧による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
(ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体指示などの禁止事項での使用による故障や損傷。
(ハ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (二) 本書のご提示がない場合。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お客様ご相談窓口へお問い合わせください。
- ※補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間保有しています。

保証書にご記入いただいた個人情報について

※ご記入いただいたお客様の個人情報は商品の修理・交換に関わる作業のみ使用させていただきます。
※修理・交換以外の業務や第三者に提供することはありません。

	修理実施日	修理内容	担当者
サービスメモ			

■輸入販売元

Tamahashi co.,Ltd.
株式会社 タマハシ

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
TEL0256-63-9545 FAX0256-66-2252
URL <http://www.smile-king.co.jp>
E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

中国製

□この度はお買い求め頂き誠にありがとうございます。この製品は、厳密な検査をいたしております。ご使用前に破損などがなくお確認し、取扱説明書をよく読んでから、正しくお使いください。お読みになった後は使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。